

2学期が始まりました。「夏休み何した？」

長いようで、あっという間の夏休みが終わり、25日から2学期が始まりました。7月21日の終業式の日には、3年生の渡邊福さんが、1学期を振り返って発表をしてくれました。清掃で体育館や音楽室をピカピカに磨いてくれたことや算数がわかるようになって好きになったこと、そして、夏休みには第2高畑山登山、2学期には漢字をがんばりたいという具体的な目標を発表してくれました。



始業式では、2年生の石田りらさんが、時計を見て行動し、廊下を走らないこと、漢字コンテストを頑張ることについて発表してくれました。それぞれどんな夏休みを過ごせたでしょうか？2学期は、運動会や持久走大会等の大きな行事、5年生の「ふれあい体験」や6年生の「修学旅行」といった学年での行事が予定されています。みんなで協力し、充実した2学期にしていきましょう

新型コロナウイルス感染防止についてのお願い

新型コロナウイルス感染症が、夏休み前から全国で爆発的な広がりを見せており、串間市でも、夏休み期間中、本校を含む複数の小中学校で多くの陽性者が出ています。現在は、8月中旬のピーク時ほどではありませんが、人の往来の多いお盆をはさみ、再び集団生活が始まるこの夏休み明けは、予断を許さない状況にあると思います。

第7波の影響により、6年生の合同学習会や市木柱松が中止となりました。SUP体験は実施する予定ですが、夏休み明けすぐの開催でもありますので、参加児童並びに協力いただく保護者の皆様には、本人及び御家族の体調に十分に留意いただき、発熱等の症状がある場合は登校を避け、速やかに医療機関での受診等の対応をよろしくお願ひします。SUP体験に限らず、2学期には、子どもたちが楽しみにしている行事がたくさん計画されています。万が一にでも学校で感染が広がるようなことになれば、その後の行事に大きな制限が加わることとなります。改めて、昨年度の学校だより2月号でもお願ひした以下の3点について、各御家庭での御協力をお願ひします。

- ①**まずは、保護者（家族）が感染しないように十分に注意をしていただくこと**
- ②**可能な限り、子どもさんをリスクの高い場所に行かせないということ**
- ③**発熱や倦怠感、のどの違和感など風邪症状がある場合は登校させず医療機関へ**

本校で発生した事例を見ても、改めてこの3点の重要性を痛感しています。特に③については、御家族の状況を含めて判断、対応くださいますようお願いいたします。

PTA奉仕作業、ありがとうございました。

8月21日にPTA奉仕作業がありました。当日は、新型コロナウイルス感染症の状況や天気も心配されましたが、なんとか実施することができました。1学期の奉仕作業が中止になった分、昨年度からの約1年間の環境整備で刈り取った大量の草や剪定した枝葉等の処分など10月1日の運動会に向けた環境整備を行いました。お陰様ですっかりきれいになりました。暑い中、本当にありがとうございました。

夏休み期間中にICT研修会を行いました。



8月3日に、大東小学校の中村健太先生を講師としてお招きし、ICT教育関係の職員研修を行いました。中村先生は、大東小学校でICTを活用した先進的な取組をされており、即、実践可能な事例をたくさん紹介していただきました。普段の研修ではICTリテラシーの習得で精一杯というところもありますが、この日は、一歩踏み込んだ内容となり、大変有意義な研修となりました。

「校長先生の挑戦4、5」終業式と始業式の話

1学期の終業式では、「夏休み何する?」ということで、夏休み開催の県立博物館での「モンスター水族館」や、県立美術館での「ホキ美術館名品展」等を紹介しました。自然体験は豊富な市木っ子だと思えますが、「博物館」と呼ばれるこれらの施設は、地理的なこともあり、子どもたちにとっては少し遠い存在なのではないかと思えます。この夏、いずれかの施設に行かれたという御家庭はおありでしょうか? 「博物館(美術館も動物園も大きな意味では博物館)」と呼ばれるこれらの施設は、「人にとって何らかの価値がある」と思われるものを集め、大切に保管し、展示して、人々がいつでも見ることができるようするために存在しています。どんな価値があるかは、見る人によって違ってくると思えます。しかし、だからこそ、出来るだけ様々な価値に触れさせ、子どもたちの心の間口を広げてあげられたらと思っています。



また、2学期の始業式では、「夏休み何した?」ということで、私が夏休みに挑戦したことについてのお話をしました。左下の写真は、日南・串間の図工・美術の先生方が集まって開催された実技講習会の様子です。市木小学校からは原田先生が参加しました。私もお世話係として参加し、最後の方で、この日の研修内容に関連する私自身の授業実践(教諭時代に美術の授業で実践したもの)を紹介させていただきました。



「表現」に関わる手段や方向性は、自分が実践していた20年前とは比べものにならないほど膨大な広がりを見せています。しかし、「表現」に関わる大切な部分や、難しい部分は、今も昔もあまり変わらない気がします。「つくる楽しさと伝わる喜び」、この2つを子どもたちに味わわせることが大切です。インスタやユーチューブの隆盛は、このような感情に対する現代人の渴望を表している気がします。

9月の行事予定

1日	避難訓練(地震)	20日	思いやり委員会
5日	クラブ活動	22日	運動会予行練習
7日	全校体育①	28日	全校体育④
9日	全校体育②	29日	振替休業日(10月1日分)
13日	教育相談	30日	運動会前日準備
15日	全校体育③		

※ 9月11日に開催が予定されていた市木柱松は、8月5日の実行委員会にて中止が決められました。つきましては、昨年度と同様、12月の持久走大会に合わせて子ども柱松を開催したいと考えています。詳しくはまたお知らせいたします。

